

## 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法
  - たな卸資産の評価基準及び評価方法
    - 商品 …………… 売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用しております。
  
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産 …………… 平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産  
旧定率法  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法を採用しています。  
平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産  
定率法  
ただし、建物（附属設備を除く）については定額法を採用しています。
  - (2) 長期前払費用 …………… 均等償却
  
3. 引当金の計上基準
  - 貸倒引当金  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。
  
4. 消費税等の会計処理
  - 税抜方式によっております。

## 当期純損失

400,023,974 円